

J A はだの

発行
秦野市
農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 (株)JA情報サービス



今の特集
 4~5面

じばさんず 魅力ある店舗に
 じばさんずは、生産者と消費者をつなぐ
 ぐ地産地消の拠点として、魅力ある店舗
 づくりを進めている。季節感を演出する
 他、若手の対面販売の場を用意する。

はだの農業満喫
 CLUBに登録を
 はだの都市農業支援セ
 ンターは、農産物の収穫
 などが体験できる「はだ

の農業満喫CLUBの
 会員を募集しています。
 情報をメールでお届けし
 ます。2次元
 コードを読み
 取って申し込
 みフォームにアクセ
 スし、必要事項を入力して
 ください。新タマネギの
 収穫、落花生、サツマイモ
 ・田んぼの農園オーナー
 などを企画しています。



カーネーションと菊で組み花を束ねる今井さん家族

彼岸に色とりどり組み花

春の彼岸に、じばさんずで秦野一緒に色鮮やかな組み花を作
 野産の切り花が来店者から人気、出荷に励んだ。
 を集めた。

出荷者の一人、羽根の今井勲
 さんは、カーネーションやスタ
 ーチス、キンギョソウなどを栽
 培。仏花の需要に合わせ、菊と



今井さんは「彼岸は仏花とし
 て使いやすいように売り方を工
 夫している。自信を持って出荷
 できる花を育てているので、こ
 れからの母の日などにも秦野の
 花を手にとってもらえれば」と
 笑顔を見せた。

座談会に出席を

春の座談会を4月7日(金) 融店舗再編などを報告しま
 す。19日(水)に、市内8会場。JAについて疑問に思っ
 て開催します。

組合員の声反映

4月7日~19日

今回は、2022年度の事 合運動を進めるため、1人
 業報告や23年度の事業計画、も多くの出席をお願いしま
 第四地域農業振興計画、金す。

秦野農業活性化誓う

大会で高らかに宣言

第四次振興計画実践へ



北氏が都市農業の確立に向けたポイントを講演
 員、じばさんず出
 荷者ら126人が
 出席。秦野市の農
 業活性化に「一丸と
 なって取り組むこ
 とを誓い合った。
 大会では、今年
 度から2027年
 度まで取り組む5
 年計画「第四次
 地域農業振興計
 画」の概要を営農
 販売部の澤砥直樹
 部長が説明した。
 組合員や役員が
 取り組むべき行動
 計画であることを
 示し、実践の具体
 性を伝えた。

JAはだのは13日、本
 所第11回地域農業振興
 大会を開いた。3年ぶり

西支所の新店舗着工



宮永宮永組合長
 の儀を行う
 30人が出席
 し、施工の
 安全を祈願
 した。新店
 舗は9月ご
 るの完成を
 見込む。

JAはだのは1日、西
 支所新店舗の地鎮祭を執
 行し、関係者ら約

式は、出雲大社相模分
 祠の神主が神事を執り仕
 切った。宮永均組合長ら
 が、鉾(くわ)入れの儀
 や玉串奉奠(ほうてん)
 などを行い、工事の無事
 を祈前に祈った。
 新店舗は鉄骨造で、延
 べ床面積は約728平方
 米。さまざまな活動に使
 える広い会議室や調理室
 の設置を予定している。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

ジビエ×秦野産農産物

おいしきPR

セミナー & 試食会

J A はだのは2月22日、秦野市商工会議所観光飲食部が開いた「秦野産ジビエと地場野菜とのコラボメニューを提案する食のセミナー&試食会」に、秦野産農産物を提供した。野生鳥獣の肉(ジビエ)を使った料理の普及を進める同部会に協力した。ミカンや落花生、ロマネスコなど約20種類を提供し、秦野産農産物のおいしさをPRした。



中晩柑の管理方法を学習

部位を解説し5品提案

セミナーには、宮永均組合長や高橋昌和市長の他、市内の飲食店や精肉店の関係者が参加した。(一社)日本ジビエ振興協会の藤木徳彦代表理事が、ジビエの栄養価や外食産業での取り扱い動向などを説明した。その後、鹿1頭を部位ごとに分ける作業を実演。各部位の特徴や野生動物ならではの筋肉の付き方などを解説した。藤木代表は、レストランのオーナーシェフを務めていることから、ジビエと秦野産農産物で作ったメニューを提案した。「鹿ロースのポワレ、柑橋(かんきつ)ジャム添え」「鹿モモ肉スライスと秦野野菜の生春巻き」など5品の料理を用意。肉の味を引き立てる秦野産農産物のおいしさをはじめ、食材の組み合わせ

メンテナン스로農作業の安全を

各地区で整備講習会

J A はだのは15日、上農業機械を持ち寄った。地区で農業機械整備講習会を開いた。春の農作業安全運動の一環で、農繁期を前にメンテナンスを徹底してもらおうと、各生産組合で2年に1回開催している。柳川第1・第2生産組合の講習会には、組合員4人が17台の



農業機械を細かくチェックした講習会

はなかなか手入れが行き届かないので、仲間と集まって整備できるのはとても良い。機械の担当者も教えてくれるのも助かる」と話した。

中晩柑管理しっかり 剪定や防除で良質生産へ

果樹部会柑橋部は13日、南矢名で中晩柑剪定(せんてい)講習会を開いた。収穫後の木の管理を徹底することで、良質なかんきつの生産につなげることが目的。部員9人が参加した。県農業技術センター職員が、厳寒期の剪定を避けることや、樹勢を保つ方のアイデアなどを伝えた。



尾澤誠一副部長は「防除方法を解説した」

営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (朝原・矢野・鳥田)

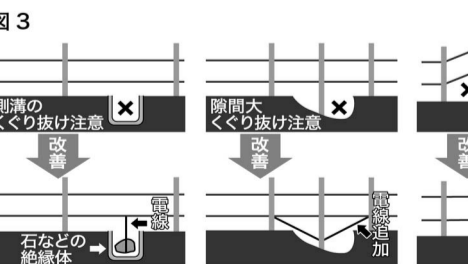
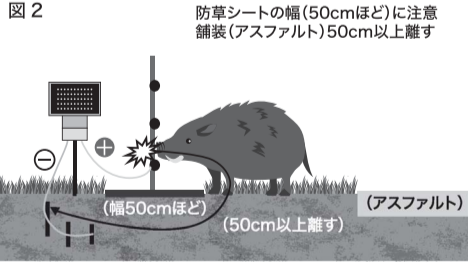
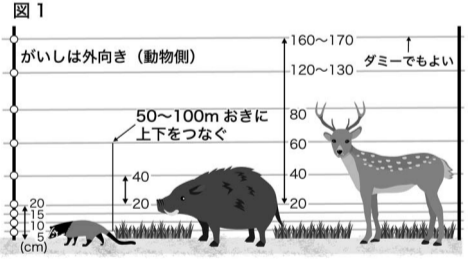
農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

- 果樹花き課 (笹屋) ● 作物加工課 (木村)
- 果樹花き (青木) ● 加工 (中山)
- 野菜課 (草野)



鳥獣害 動物から畑を守る電気柵

今回は、電気柵を紹介。電気柵は、動物が鼻先で触って探査行動をする習性を利用して、感電の痛みを経験させることで柵への恐怖心を学習させ、侵入を抑制するものです。



動物の毛皮は厚く、鼻高さが電線を張ります。先以外で触れたり、漏電などが発生した場合、電圧が弱かったりすると十分に感電しませぬ。動物は初めて触れた時に痛みを経験しないと、倒す可能性があるためです。また、電線の上下の段は、50〜100cmおきで管理することが大切です。動物が鼻先で電線に触れるため、動物に適した動物は夜以外も行動します。その間に感電しな



JAグリーンは農家を応援します

春野菜作りの資材割引

4月8日(土)~16日(日)

J A グリーンはだのは4月8日(土)~16日(日)、春野菜作りに適した肥料や農薬などの割引キャンペーンを実施します。期間中は人気商品を特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。

お問い合わせはJ A グリーンはだのみで。☎81-7719

は年々変わるので、学習員同士で積極的に情報共(つ)を生産していきたい。の機会は重要。今後も部有しながら良質なかんき」と話した。

(鳥田)

2023年度活動計画(抜粋)

- 【組織活動】若い世代の参加者を対象にしたフレッシュミズ講座を開講し、女性部活動の魅力伝える取り組みを行います。
- 【男女共同参画社会づくりの活動】女性が活躍できる社会を目指して、JA神奈川県女性組織協議会や地域女性組織との連携を図ります。
- 【健康と福祉の活動】健康と福祉に対する意識の高揚を図るため、健康フォーラム等の研修会をはじめ、各種スポーツ大会に積極的に参加し、健康維持と部員相互の親睦を図ります。
- 【くらしと環境の活動】「JAはだの女性部エコ10宣言」を実践します。
- 【趣味と文化の活動】「ふるさとの味伝承活動」など各種料理教室を開催し、次世代へ食と農に対する理解促進を図ります。

活性化し仲間づくりを

第55回女性部総会



総会でJA女性組織綱領を唱和

4年ぶりに 人数制限解除 全会一致で議案可決

女性部は14日、本所で第55回女性部総会を開いた。今年は4年ぶりに来場人数を制限せず実施し、部員ら191人が出席した。

総会では「2022年度」「役員承認」「役員活動報告」「2023年度活動計画」の4議案を審議し、年度活動計画「女性部 全会一致で可決。組織の特別会計の運用について活性化と、若い世代を

1ゲットにした仲間づくりに取り組みようと団結し

榎田真弓部長は「本部

新メンバーで力合わせて



女性部は9日、本所で新本部役員候補者を対象に研修会を開いた。今年度から新たに本部役員に就任する部員と各支部のフレッシュミズ代表者、JA職員合わせて31人が出席した。

活用方法や活動 代表4人が発表

家の光大会

女性部総会終了後「JAはだの家の光大会」を開いた。生活文化活動の促進と活性化を図ることを目的に、4支部の代表4人が登壇。「家の光」の記事活用方法や部の活動、自身の経験を発表した。

登壇した部員は、目的別趣味グループでの体験談や「家の光」の記事を活用したことで日々の生活や女性部活動の幅が広がったことなどを発表した。発表内容は家の光協会の職員らが審査。発表後の講評で、東日本普及文

役員だけでなくサポートや部員一人一人が力を合わせた。新たに南支部長に就任する相原由美子さんは「南支部は支部役員が総話をした。」

新本部役員候補者 研修会を開催

女性部は9日、本所で新本部役員候補者を対象に研修会を開いた。今年度から新たに本部役員に就任する部員と各支部のフレッシュミズ代表者、JA職員合わせて31人が出席した。

ポイントカード の景品を製作

女性部は、ポイントカードの景品を製作した。昨年3月から2月までの1年間で活動に参加してたまったポイント数に応じてプレゼントするもの。グッズは、ハンカチ、トートバッグ、エコバツ

手芸「リメイク小梅の会」

代表 辻 光子



私たちのグループは、主に着物や帯を活用し、作業衣や洋服、バッグ、小物などにリメイクしています。製作した作品は東支所のロビーに展示しています。

毎月第1・3月曜日の午前9時30分から午後3時に、東支所の2階会議室で活動しています。メンバーは、次に手がける作品に思いを弾ませながら知恵を出し合い、和気あいあいと製作を楽しんでいます。

入れ替えなので不慣れなことがあると思うが、力を合わせて支部を盛り上げていきたい」と意気込みを語った。



小松常務理事(左)に食品を手渡した

困窮者に役立てて 食品205点寄付

グ、カトラリーセットの4種類。155ポイント、6510ポイント、11520ポイント、21530ポイント、31540ポイント以上の5段階ごとに分けて集計し、3月の支部会で部員に渡すことにしている。

女性部は2月20日、市保健福祉センターを訪れ、市社会福祉協議会が行うフードドライブに協力した。榎田真弓部長ら本部役員が、小松昭一常務理事に食品205点を寄付した。

支部だより

不知火祭り
大根支部は2日、南矢名の果樹園で不知火(しらぬい)狩りを満喫した。部員19人が、収穫を体験しながら部員同士の交流を深めた。

部員は、園を管理する柑橘(かんきつ)農家の尾澤健一さんから、食べ頃の実の見分け方や収穫方法を教わった。その後、はさみを使って収穫し、取れたての不知火を味わった。



不知火狩りを満喫した

4月の女性部行事予定表

5日(水)	13:30~フレッシュミズ代表者会議
7日(金)	13:30~本部役員会
12日(水)	13:30~ままメートクラブボランティア会議
13日(木)	9:30~支部役員会(西)
//	10:00~JA神奈川県女性組織協議会新旧役員会
//	13:30~支部役員会(本町・南)
14日(金)	9:30~支部役員会(東)
//	13:30~支部役員会(大根・北・上)
18日(火)	9:00~女性部グラウンドゴルフ大会(雨天20日)
24日(月)	8:00~東支部「支部旅行」
27日(木)	10:00~JA神奈川県女性組織協議会総会

普段使いできるオリジナルグッズ



同部は、持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みの一環として2020年から食品の寄付を

市民農業塾スタート



はだの市民農業塾 開講式
主催：秦野市・JAはだの・秦野市農業委員会

多様なニーズに3コース

はだの都市農業支援センターは「はだの市民農業塾」を毎年開き、担い手の育成に取り組んでいる。市民農園の利用者向けの講義や、本格的な就農支援など、コース別にカリキュラムを用意。農に関心がある市民の多様なニーズに対応している。

開講式一堂に

市長やOB、エールを送る。4日には、本所で開講式を開いた。各コースの受講生が一堂に会し、塾長を務める高橋市長と塾長を祝福する高橋市長と塾長が、塾の卒業生で構成する「はだの市民農業塾就農者連絡協議会」の杉本会長らからエールを送った。

就農コース

10日には、表丹沢堀山下ふれあい農園で新規就農コースの実習がスタートした。受講生4人が、講師を務める伊藤総司さんらから畝の立て方や耕運機の使い方などを学びながら、ジャガイモの種芋を

就農コース 実習で学ぶ

10日には、表丹沢堀山下ふれあい農園で新規就農コースの実習がスタートした。受講生4人が、講師を務める伊藤総司さんらから畝の立て方や耕運機の使い方などを学びながら、ジャガイモの種芋を



新規就農コースの実習の様子。受講生が農機具を使いながら作業している。

ほうい。新たな地域農業の担い手として秦野の農業振興の一翼を担ってほしい」と期待の言葉を贈った。

詐欺防止へ 窓口で訓練

JAはだのは14日、本所で特殊詐欺被害防止のための窓口対応訓練を行った。高額な現金取引の場合、ためらわず警察に連絡するよう周知。JAと警察が連携を密にしながら、詐欺被害を減らしていくことを確認した。

害獣捕獲のサポート

はだの都市農業支援センターは8、9の両日、本所で有害鳥獣捕獲講習会を開いた。参加した計77人が、害獣捕獲のためのポイントや、鳥獣被害対策を担当する県やJAの職員が、鳥獣保護管理法をはじめ、イノシシや鹿、ハクビリンなどの生態を解説。定点カメラで撮影した野生動物の動画を使って行動の特徴を説明した他、効率的な餌付けの方法などをアドバイスした。

じばさんず



地産地消の拠点さらなる魅力ある店舗に

「映える野菜びな今年も」2月27日から3月5日までひな人形飾りが来店者から足止め、スマートフォンで、生産者が野菜で作った人気を集めた。多くの人が顔を野菜びなを見ながら「色が鮮やかで素敵」「アイデアが面白くて見ているうちに楽しくなる」と店内に笑顔があふれた。



毎月ユースマルシェ 青年部が消費者と交流

青年部は毎月1土曜日「ユースマルシェ」を開き、じばさんずの外売りに、じばさんずの野菜を販売している。部員が丹精して育てた農産物などを直接販売している。部員がアイディアを出し合ったり、工夫しながら開催している。

協同組合 運動学 生産組合と支所運営委

JAはだのは2月25日、市保健福祉センターで生産組合役員、支所運営委員会合同研修会を開いた。組合員138人が出席。協同組合は組合員の主体的な組織であることや、地域でJAの組合員組織が活躍する事例などを学んだ。



手書き看板が人気

じばさんずの店外に設置した季節感あふれる店舗づくりを生かし、同店の店内広告として手書き看板が、多くに「役買っている」との来店者から注目を集めた。描いたのは、同店スタッフの来店者から注文を集めた。POPは出荷者や来店している。同店スタッフが、フの小室美貴さん。もともと、店員から好評で、昨年JAひな人形や桜など季節ごとと絵が得意で、漫画を描いたイラストを描いたもの。ていた経験から、その技量「JA直売所POP陳列甲

お得なパンセット好評

「Sun's Gelato」のパンセットが好評。パンは店内で焼き上げ、焼きたての味を提供している。季節感を感じられるので、季節感を演出している。多くの来店者に見てもらうべく、季節感を演出している。多くの来店者に見てもらうべく、季節感を演出している。



野菜でできたよ

市立南幼稚園の園児16人のプレゼントを贈った。園児は「おいしい野菜ができたよ。びなマンが感謝状をくれた。その感謝状をありがとう。その後、サプライズで登場したびなマンと触れ合った。



二人で力を合わせて

12年に市内唯一のトルコ料理店をオープンした。現在は妻の昌代さんと手を組み、市内から、店舗とキッチンカーの拠点として、トルコ料理を提供している。キッチンカーは、市内



本町支所が最優秀賞に

JAはだのは13日、各支所・支店が毎月発行する「かわら版」の優れた紙面を作成した支所を表

本町支所が最優秀賞に

JAはだのは13日、各支所・支店が毎月発行する「かわら版」の優れた紙面を作成した支所を表

告知板

うでピー用落花花生
出荷者を募集

8月上旬～9月上旬
8月中旬～9月上旬

JAは、冷凍ゆで落花花生「うでピー」用の落花花生出荷者を募集しています。「うでピー」は、農家から集荷した落花花生をさやごとゆでて瞬時に冷凍したもので、県の「かながわブランド」にも登録されている秦野市の特産品です。落花花生をJAに出荷してみませんか。

◎対象品種 郷の香

◎出荷時期 8月上旬～9月上旬

◎昨年の買い取り価格(1斗当たり・税込) 8100円

出荷のお申し込み、お問い合わせは営業販売課まで。 ☎81-7718

大会参加者を募集

「グラウンドゴルフ」

JAはだのは、第16回グラウンドゴルフ大会を開きます。

◎日時 5月17日(水) 午前8時30分 ※雨天の場合5月18日(木)

◎会場 なでしこ運動広場多目的広場

◎募集人員 96人

◎参加資格 市内に在住する60歳以上の組合員(家族を含む)またはJAはだの口座で年金を受給している方

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・野市ターゲットボードゴルフ協会

出荷のお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

お問い合わせは生活福祉課まで。 ☎72-766

「ターゲットボードゴルフ」

JAはだのは、第11回ターゲットボードゴルフ大会を開きます。

◎日時 5月22日(月) 午前8時30分 ※雨天の場合5月23日(火)

◎会場 なでしこ運動広場多目的広場

◎募集人員 144人

◎参加資格 市内に在住する60歳以上の組合員(家族を含む)または秦野市ターゲットボードゴルフ協会



落花花生の収穫体験(昨年)

協同組合講座を受講しませんか

JAはだのは、共に活動に参加し合える組織づくりを目的に、協同組合講座を開きます。2023年度の受講者を募集していますので、興味のある方はぜひご参加ください。応募締め切りは4月7日(金)です。

お申し込みは各支所・支店または組織教育課まで。 ☎81-7714

	組合員講座	組合員基礎講座
内容	農業や地域、生活など幅広いテーマを市内在住者や市内の体験型農園などを視察。	協同組合やJAはだの取組や基礎的な学習の他、小田原市尊徳記念館の収蔵品や収穫体験などを実施。
対象者	組合員とその家族	准組合員とその家族
募集定員	各25人	
期間	2023年5月～2024年1月	

買取り価格や出荷時期などは年度によって変更になる場合があります。生産者へのサポートとして、JA職員による栽培指導の他、土壌診断や栽培講習会なども行っています。

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・野市ターゲットボードゴルフ協会

お申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎初心者・初参加の方 康センター

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎場所 秦野市中野健康センター

お申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎場所 秦野市中野健康センター

を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。

☆「ワンスプーンサービス」
雨の日は、ジェラート購入でお好きな味をワンスプーンお届けします。

☆「Sun's Gelato 1周年フェア」
開店から1周年！皆さまへの感謝を込めた企画をご用意します。

◎4月11日(火)は定休日です。※感染症の影響により、試食イベントは休止しています。他のイベントも変更になることがありますので、ご了承ください。



北矢名の宮村真樹さん

自家産のミカンを使ったジュースなど

ミカンジュースは「極早生」「藤中」「青島」の3種類があるので、味の違いを楽しんでください。お酒の割り物にもお薦めです。原料のミカンは、有機質の多い肥料を使い、農薬の使用をなるべく減らして安全・安心な栽培を心がけています。贈答用の箱がありますので、贈り物にもどうぞ。

お申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎場所 秦野市中野健康センター

じばさんず NEWS

【4月のイベント】

- ☆「ユースマルシェ」1日(土) 青年部の若手農家が、新鮮な野菜を対面販売します。お薦めの食べ方などの質問もお気軽にどうぞ。
 - ☆「旬の果物・野菜フェア」2日(日) 8日(土) 9日(日) 22日(土) 23日(日) 30日(日) 旬の果物や野菜にスポットを当て、店舗外の特設コーナーで販売します。
 - ☆「おすすめ商品の特売」4日(火) 18日(火) 25日(火) 産地間提携を結ぶJAの商品など、お薦めの品を特別価格で販売します。
 - ☆「豚肉加工商品の日」14日(金) (株)フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。
 - ☆「春まつり」15日(土) 16日(日) 野菜苗売り場を拡大し、夏野菜の苗を販売します。
 - ☆「たまごの日」毎週月、金曜日 店頭価格から10%引き。「みくるべたまご」は除きます。
 - ☆「米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。
 - ☆「肉の日」毎週木曜日と29日(土) 店頭価格から5%引き。
- 【Sun's Gelatoのイベント】
- ☆「お得なパンセット」6日(木) 15日(土) 16日(日) ミニクロワッサンやミニ粒あんデニッシュなどのパン商品

お申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎場所 秦野市中野健康センター

お申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎申し込み方法 3月28日(火)から各支所・支店でお申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

◎場所 秦野市中野健康センター

休日ローン相談会

ご来場の方に記念品を進呈

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

4月22日(土)

午前9時～午後4時 本所

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から予約可!

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。 JAはだの 検索

※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

休日年金相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

ご来場の方に
粗品を進呈

日時・場所 **4月16日(日)** 午前9時～午後4時 本所農業団地センター

※どなたでもご相談いただけます。
※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

できるだけ事前予約をお願いします

信用課 TEL.81-7716 当日は☎0120-954-092

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)

春眠や夢の中まで鳥の声 石田 陽子(ひばりヶ丘)
梅散るや狭庭をおぼ贈りもの

春眠の覚むれば現存えて 高橋 順子(大秦町)
ほめ言葉届いて花の開きけり 柳川みち子(栄町)

春眠や読みかけの本滑り落つ 佐藤英美子(南矢名)
落ち椿和紙にぬくもりありけり 森高 由子(渋沢)

春眠やぼんぼん時計鳴っている 高島美和子(名古屋)
春ねむし手もちぶさたの一日かな 吉田 清美(渋沢)

芽吹きたる柳や水のざわめけり 菊池としえ(菩提)

春眠の鋭気もたらす八十路かな 櫻庭 義明(室町)

句に馴染み令和の春を卒業す 高見 清(北矢名)

年齢の身を持って種を御しけり 芦川 松江(八沢)

ぼくぼくと駿馬を眠くして木魚 石原 松枝(渋沢)

紙を破き思い出したり幼き日 八木 実(鶴巻北)

飛行機の撤きしビラのきらめき 八木 実(鶴巻北)

評 先の大戦の末期にB29からまかれた爆撃予告のビラのことであろう。大量にまかれたが、軍や警察が回収し検閲して国民にはあまり読まれなかったという。戦後70年余り体験を語る人もすくない現在、貴重な歌。

愛国の歌手カテリーナの弾き語り 石田(ずゑ)(水神町)

バンドゥーラ奏で平和を願う 細田 富士(千村)

春来ぬと梅一輪の咲き初めて 水落美和江(鶴巻南)

友と行きたし温泉の旅 石田(ずゑ)(水神町)

路の暮岸独活三つ葉の芽が吹いた 今日夕餉は春の香りで 水落美和江(鶴巻南)

昭和より続けたたりし短歌会 五人となるも字ぶは染し 安居院輝雄(上大槻)

今見てる流れる雲のゆく先は 大木かずひろ(名古屋)

どこに行くのか誰も知らない 伊東 久(渋沢)

自家接ぎ木とごん伸びる八重桜 電線に届くを案じつついる 伊東 久(渋沢)

大雪の予報はすれて今朝の雨に 丹沢の山並みふくらかにみゆ 伊東 久(渋沢)

※選者による添削あり

春まつりに来てね

4月15、16日にカーネ無料配布

園芸協会

秦野市園芸協会は4月15、16の両日「秦野市園芸協会春まつり」をじば良質な果樹類の苗木や花苗などを販売する他、農家による園芸相談を実施。焼き鳥やわたがしなどの模擬店も軒を連ねる他、花き部会カーネーション部にによるカーネーションの無料配布も行います。

今年初め、仮想現実(VR)映像を活用した農業作業仮想事故

食と農を学ぼう!

ちやぐりんスクール参加者募集



ちやぐりんスクールでイチゴ狩りを満喫(昨年)

秦野産カーネーションを無料配布(2019年)

J Aはだのは、市内の小学4〜6年生を対象に「ちやぐりんスクール」を開きます。秦野の特産である落花生の収穫やイチゴ狩り、箸作り体験など全5回のカリキュラムを用意します。

家の光 今月の新刊 はじめての自然循環菜園 無肥料・無農薬で究極の野菜づくり 内田達也 著 光合成によって作り出された栄養素を求め、土壌生物が集まり、土中の有機物を分解することで土が育つ。野菜栽培を繰り返すことで畑の中に循環が生まれ、堆肥や肥料を使わなくてもオーガニック野菜に挑戦できる。 定価1980円(税込)

4月11日(火)午前9時からインターネットで申し込みを受け付けます。2次元コードを読み込んでアクセスしてください。20人の定員に達し次第、受け付けを終了します。



お問い合わせは組織教育課まで 081-7714

おめでとうございます。おめでとうございます。おめでとうございます。

秦野の農家ご飯

ロールおはぎ

東支部 向原 洋子さん

■材料(2本分)■
もち米1合、うるち米1合、あんこ250g、A(きなこ大さじ3、砂糖大さじ1/2)、B(黒すりごま大さじ3、砂糖大さじ1/2)

〈作り方〉
①もち米、うるち米を合わせ、通常の水加減で炊く。炊き上がったらすりごぎでつぶす。
②巻きすにクッキングシートを敷き、①の半量を横20センチ、縦25センチくらいに平らに広げる。
③あんこの半量を棒状にして②の真ん中に横向きにのせる。
④③を手前から巻き、巻き終わりを下にしておく。残りのご飯とあんこも同じように巻く。
⑤A、Bをそれぞれ混ぜ合わせ、1本ずつ外側にまぶす。
⑥5等分に切り分ける。

〈ひとことアドバイス〉
完成後に冷蔵庫で冷やすと、切りやすくなります。

JA農機ハウスローン

農業のノウハウが育みます

1 軽トラックの購入にも! 2 農業機械の購入にも!
3 ハウスの建設にも! 4 作業所・倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業 補給率 最長10年 最大 1.0%

保証料助成事業 実質保証料 0円

詳しくは各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

税務相談日 4月10日(月) 午前9時30分~
法務相談日 4月20日(木) 午後1時30分~
場所 本町支所

結婚相談日 4月10日(月) 午前9時~正午
時間 午前9時~正午
場所 本所1階ミーティングルームC
お問い合わせ 組織教育課 ☎81-7714

事業物件の新築・リフォーム資金 JAにご相談ください!

- アパートやマンションなどの賃貸住宅やテナントなどの建設・リフォーム資金
- 他の金融機関からのお借り換え

現在他の金融機関で借入れしている返済計画表をご提示いただければ、借り換えシミュレーションを作成します。

詳しくは各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

園児の食農教育に協力

ジャガイモ植えサポート

上支所運営委員会



種芋に土をかぶせる園児

は6月中旬に収穫し、家に持ち帰って味わう他、同小学校に提供する予定だ。

府川伸園長は「植え付けから収穫までを体験することは、園児にとって良い経験になる。地域の方向やJAが積極的に協力

と感謝を述べた。

和田委員長は「普段食べているジャガイモがどのように育つかを知ってもらえる機会になればうれしい。今後も食と農の大切さを伝えていきたい」と話した。

地域の農業の魅力伝え

大根支所 運営委 キンカン収穫体験会

大根支所運営委員会は11日、鶴巻の温室でキンカンの収穫体験会を開いた。収穫作業などを通して、地域の農業を身近に感じてもらうと企画した。参加した組合員やその家族ら14人の収穫作業をサポートしながら、農の魅力伝えた。

体験は、地元農家の伊藤伸一さんが協力した。参加者は、伊藤さんからキンカンの収穫方法やおいしい実の見分け方などを教わった後、収穫作業を開始。大きさを色つやを見極めな



キンカンを収穫する参加者

から、一粒一粒丁寧に収穫した。

委員らは、支所運営委員会や女性部の活動についても参加者に紹介。一人でも多くの組合員に協同組合活動へ参加してもらうよう呼びかけた。

岩田賀津美委員長は「収穫の楽しさや農産物のおいしさを感じてもらえることが農業への理解につながると思う。初めて企画したが、地域の農業の魅力をもっとの人に知ってもらえる機会になった」と笑顔で話した。

弘法山のネモフィラ咲き誇れ



青い花が一面に広がるネモフィラ畑 (昨年)

もうすぐ見頃

青年部が今年も管理

青年部が管理する弘法山のネモフィラ畑が、間もなく見頃を迎える。花

いっばい運動の一端で、部員が栽培する花で魅力ある景観をつくらうと取

り組んでいるもの。4月上旬に開花がピークになる見込みだ。

同部がネモフィラの栽培を始めて2年目。昨年は、見晴らしの良い斜面で青い花が一面に咲き誇る絶景が話題を集め、花畑は多くの人でにぎわった。部員は今年も花を咲かせようと、種をまいて被覆材で霜を防ぐなど管理を徹底してきた。

ネモフィラ畑は、弘法山展望所(首屋4479番地)付近の休憩場所周辺に位置する。2次元コードから地図を確認することができ



る。福祉施設の職員として、介護や支援が必要な利用者のサポートをしながら、農業にも励む。約20坪で栗や柿、キャベツやネギなど合計20品目以上を栽培。祖父の代から100年

接近! おじまはす

地域との交流を楽しみに



東田原の 前 信子さん(80)

東田原の農家で育った前信子さん。学生時代から麦の収穫などの畑仕事を手伝い、中学卒業後は農業に励んでいた。20代になってから小田原市の魚店や電機会社などで働き、2人の子どもの小学校に入学してからは、水産会社で定年まで勤めた。

現在は、西田原にあ

る福祉施設の職員として、介護や支援が必要な利用者のサポートをしながら、農業にも励む。約20坪で栗や柿、キャベツやネギなど合計20品目以上を栽培。祖父の代から100年

以上続くハス田も守り続けている。

家の前に設置した直売所で、畑で育てたカラの花や野菜を販売する。野菜は勤務先の施設にも提供する他、施設の活動で利用者が月にタウンニュースに

取り上げられ、多くの人からカメラを手に訪れる人気スポットになった。通りかかると話されるのも楽しみの一つ。井戸端会議のように、ハス田会議になることもある」と話す。

女性部活動にも積極的に参加。新聞バッグ作りやシイタケのほだ木作りなどの支部活動に参加し、仲間と交流を深めている。

前さんは「草刈りなどの作業は息子が手伝ってくれるので助かっている。一日一日を大切に、地域の人たちとの交流を楽しみながら農業を続けていければ」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに??」



やえのちゃん



やえのちゃん

もうすぐ八重桜が開花するだね。秦野市は食用八重桜の産地って聞いたことがあるよ。

その通り。市内の八重桜は全国でトップクラスの出荷量なのよ。歴史はとても古くて、江戸時代の末期頃から春の換金作物として農家が摘み取っていたの。傾斜地でも栽培が可能だから、昭和に入ると千村地区を中心に多くの農家が定植して産地化が進んだわ。



やえのちゃん



やえのちゃん

秦野市は八重桜の産地

そんなに昔から摘み取りが始まっていたんだね。

収穫した八重桜は市の特産品「桜漬け」に加工作業されて、パンや菓子、祝いの場でも出される桜湯などさまざまな用途で使われるの。桜が散った後でも、長い間春を感じることもできるわ。じばさんずでも販売しているのよ。

今年は桜を見るだけじゃなくて、食べて春を満喫したいな。



やえのちゃん

一致団結！ JA運営にご意見を ～春の座談会にご出席ください～

4月7日(金)から19日(水)まで市内81会場で開催

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を進めるため、春の座談会を4月7日(金)から19日(水)まで市内81会場で開きます。

3年ぶりの開催となる今回は、2022年度の事業報告や2023年度の事業計画、第四次地域農業振興計画、金融店舗再編などについて説明します。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひ、お聞かせください。組合員の皆さまのご出席をお願いします。

前回に引き続き、書面・FAX・メールでもご意見を受け付けます。回答に必要となるため、住所と氏名を必ず記入・入力してください。

●受付方法：

- ①任意の紙に必須項目(住所・氏名・連絡先)とご意見・ご要望を記入し、各支所・支店・本所(組織教育課)に直接提出。
または組織教育課までFAX(84-1856)を送信。※専用の紙は配布していません。
- ②右記の二次元コードを読み取るか、専用メールアドレス(soshiki-iken@hdn.kn-ja.or.jp)宛てにメールを送信。

●期間：4月7日(金)から4月19日(水)まで。



前回の春の座談会(三廻部)



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
TEL 0463-81-7711(代)
発行責任者 小島敏雄
印刷所 (株)ポートサイド印刷



ともに歩んで60年 組合員・地域の皆さまに感謝

JAはだのは、2023年8月1日で創立60周年を迎えます。組合員や地域の皆さまのご支援・ご協力により、各事業は順調に推移しています。今後も地域に開かれたJAとして、地域農業と地域社会の双方の活性化に貢献し、組合員の期待に応える組織運営に努めていきます。記念事業として、本所の屋上に太陽光パネルを設置する他、組合員利用券の配布を予定しています。

< JAはだの60年の歩み >

- 1963年 大根農協、本町農協、東秦野農協、南秦野農協、北秦野農協の5つの農協が合併し、組合員2,560人で秦野市農協が創立
- 1966年 西秦野農協と上秦野農協が2次合併して組合員数3,933人となり、市内1農協に
- 1972年 現在の本所事務所が完成
- 1992年 愛称を「JAはだの」に決定
- 2002年 地産地消の拠点として農産物直売所「はだのじばさんず」をオープン
- 2011年 組合員加入戸数1万戸を達成
- 2022年 「はだのじばさんず」敷地内にジェラート店「Sun's Gelato(サンズジェラート)」をオープン
- 2023年 組合員14,315人、11,882戸が加入(2月28日現在)



創立時の秦野市農協本所

協同組合運動の躍進に向けて



代表理事組合長

宮 永 均

2022年度のわが国経済は、夏場の新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着きを見せた後は、水際対策が大幅に緩和され、政府の支援策もあり、消費・輸出のサービス部門の需要回復が見られた反面、物価高によって全般的に消費は伸び悩みました。また、高インフレによる海外経済の減速やウクライナ問題、進まぬ財政健全化などの懸念材料があり、経済への影響には引き続き留意が必要です。

農業を取り巻く環境では、輸入依存度の高い生産資材や燃料などの価格が高騰し、農業にとって非常に厳しい状況が続いています。一方、2023年度中の改正を目的に「食料・農業・農村基本法」の見直しが始まるとともに、「みどりの食料システム法」の施行により、環境と調和のとれた食料システム確立のため、ますます環境負荷へ配慮した農業生産が求められるようになりました。

こうした状況の中、JAはだのは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画(2022年度～2024年度)初年度の実践に取り組まれました。

組織運営は、支所・支店を拠点とした地域の特徴を生かした組合員参加型の活動に取り組むとともに、機関紙「JAはだの」の紙面を活用し農業や協同組合への理解促進を図りました。

営農指導事業は、訪問活動を通じ、生産者のニーズを踏まえた営農指導と販売提案に努めました。また「はだの都市農業支援センター」と連携し、有害鳥獣対策や新規就農者支援、観光農業振興に取り組む、地域における農業生産基盤の維持・継続を図りました。販売事業は、地産地消の拠点である「はだのじばさんず」敷地内に、新たにジェラートショップ「Sun's Gelato(サンズジェラート)」をオープンし、利用者層の拡大を図るとともに、地場農産物のPRや買取販売の拡大に努めました。また、中学校給食への地場農産物の安定供給へ向けた生産振興に取り組まれました。経済事業は、予約購買の基幹品目である新茶と果産飲料の取扱拡大を図る一方、高騰する資材価格に対する助成対策に努めるなど、組合員ニーズに応える事業展開を進めました。さらに、金融共済事業は総合農協としての役割を發揮するため、日常的な相談・提案機能の充実に努め、地域に根ざした金融機関として組合員・利用者の満足度を向上させる店舗づくりに取り組まれました。

経営管理は、事業再構築計画に基づいた業務集約として第1次再編を実施し、金融事業の見直しを図りました。また、総合経営収支の安定確保とコンプライアンス態勢の徹底、監査業務の品質管理活動により、経営の健全性と信頼性の維持に努めました。

2022年度の事業実績は、各事業とも厳しい環境の中で、組合員の結集をはじめ、地域の利用者のご理解とご協力により、概ね計画に沿った成果を残すことができました。改めて感謝申し上げます。

春の座談会では2022年度事業概況を報告するとともに、多くのご意見やご質問をいただき、今後の事業運営に反映させていきたいと考えておりますので、一人でも多くの組合員のご出席をお願いいたします。

歩むJAはだの

JAはだののすがた

2022年度活動の実績

- 2023年2月28日現在
- ()内は前年同期実績
- 数字は単位未満切り捨て
- この特集号の数値は速報値です

4 営農事業の取り組み

- ◇持続可能な地域農業の確立
 - ・部会担当者や販売TAC担当者による面談・対話を通じた提案・相談活動の充実
 - ・関係機関と連携した多様な担い手の確保・育成に向けた取り組み
- ◇はだの都市農業支援センターの取り組み
 - ・「はだの農業満喫CLUB」への加入促進（メール配信システム登録数 675人）
 - ・鳥獣被害の防止に向け「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用した農作物被害軽減を実施
 - ・青パパイヤ研究会を中心にSNSによるPR活動を実施
 - ・多様な担い手の育成と農地の利活用の推進

1 みんなの仲間

組合員数		組合員戸数	
14,315人	(14,437人)	11,882戸	(11,946戸)
内 正組合員	2,753人	内 正組合員戸数	2,160戸
内 准組合員	11,562人	内 准組合員戸数	9,722戸



5 安全・安心な農産物の供給

◇地産地消を中心とした販売力の強化

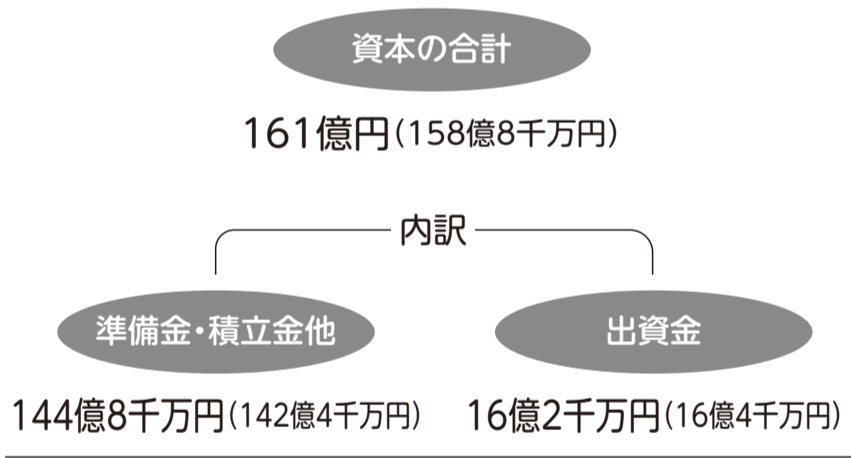
全体の取扱高 18億円(18億5千万円)

<はだのじばさんずの利用状況>

- ・利用者総数 50万5千人(48万2千万人) 【うちSun's Gelato 2万4千人】
- ・取扱高 10億1,432万円(9億7,658万円) 【うちSun's Gelato 1,665万円】



2 資本の状況



6 健康と福祉の取り組み

- ◇「JA 健康寿命100歳プロジェクト」の展開
- ◇団体人間ドックの受診を呼びかけ
- ◇子育て支援「ママメートクラブ」を開催
- ◇農産加工セミナーおよび加工相談会を毎月開催
- ◇女性部を中心に食糧支援を目的に生活困窮者等へフードドライブを実施

<長寿記念品の贈呈> 申請者数 115人(123人)
 <人間ドック> 受診者数 742人(753人)

3 組織活動・教育広報の充実

- ◇農政活動の取り組みとして市長らに農林業施策・予算要請書を提出
- ◇協同組合講座を開講し「SDGs(持続可能な開発目標)」や「スマホ教室」など社会情勢に合わせたカリキュラムを導入
- ◇小学生を対象にした「ちゃぐりんスクール」を開校し、農家の協力で食農教育を推進
- ◇ホームページやインスタグラムを活用した情報の発信
 インスタグラム配信回数 56回

2022年度協同活動の主な記録



- 生産者が出荷した中学校給食用の農産物などの運搬には、はだのじばさんずのロゴマーク入りのトラックの活用を始めました。JA 共済の「地域・農業活性化積立金」を使い、地域貢献活動の一環として



- 第34回組合員ゴルフ大会を大秦野カントリークラブで3年ぶりに開きました。組合員145人が、互いに交流しながらプレーに汗を流しました。(=写真)



- 市内の児童に食と農のつながりや大切さを知ってもらおうと、食農教育補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を秦野市教育委員会の佐藤直樹教育長に寄贈。市内の小学校13校の5年生に配りました。



- 2022年度新採用職員11人が、秦野市農業経営士会の協力で農業実習を行いました。農作業を体験するとともに、経営士の農業に対する思いを直接聞き、理解を深めました。(=写真)



- 子育て支援活動「ままメモートクラブ」を開きました。市内在住の未就学児とその親7組15人が柳川の畑でサツマイモの収穫を体験しました。(=写真)



- 秦野市農業経営士会が、本所で高橋昌和市長らとの農政懇談会を開きました。経営士の他、県や市、JAの役職員ら30人が出席。地域農業が抱える課題について意見を交わし、解決に向けて協力し合うことを確認しました。



- ジェラートショップ「Sun's Gelato (サンズジェラート)」をオープンしました。はだのじばさんずの隣に店舗を構え、季節ごとに旬の地場産農産物を使ったジェラートを販売。家族連れを中心とした幅広い世代に、農産物の魅力を発信しています。(=写真)



- 長寿の組合員を祝う「いきいきライフ支援事業」で、100歳以上の組合員宅を訪問し、記念品を贈りました。「JA健康寿命100歳プロジェクト」の一環で、喜寿、米寿、白寿、100歳以上の組合員を毎年祝っています。



- 青年部が、県内で初めて開催する全国健康福祉祭(ねんりんピック)の会場に、部員が生産する花を植えたプランターを並べました。秦野市カルチャーパークに、プランター100個を配置。



- はだのじばさんずが、開店から20周年を迎え、周年祭を開催しました。2日間で5500人が訪れ、にぎわいを見せました。2000円以上購入した来店者には、生産者が提供した野菜や花などをプレゼントしました。



- 第59回通常総代会をクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで開きました。本人・代理人出席と議決権行使書の提出を合わせて556人の総代が議案を審議しました。



- ちゃぐりんスクールを開校し、市内の小学4～6年生22人が参加しました。第1回目は(一社)家の光協会の月刊誌「ちゃぐりん」を活用した工作とJAの施設見学を行いました。(=写真)



- 機関紙「JAはだの」が創刊1000号を迎えました。1963年の「農協だより」発刊から59年で達成。職員が全組合員宅に配布することで、対話のきっかけづくりに役立てるなど、JAと組合員をつなぐ機関紙として役割を發揮しています。(=写真)



- 女性部が、クアーズテック秦野カルチャーホール小ホールで「第17回JAはだの女性部文化交流会」を開きました。参加者や観客ら合わせて242人が来場し、日頃の活動の成果を発表しました。



- はだのじばさんずで「父の日フェア」を開催しました。Jミルクが定めた6月の「牛乳月間」に合わせて「父の日」と「乳(ちち)の日」をかけて実施。2000円以上買い物した来店者を対象に、県西部地区の生乳を使った「柳川牛乳」1000パック(1パック200ml入り)を配布しました。



- 女性部が取り組む「自給率向上!大豆プロジェクト」がスタートし、大豆「津久井在来」の種まきをしました。栽培から収穫、加工までを体験するもので、新たに参加を希望する部員が年々増加。食と農の大切さを体感できる活動の一つとして定着しています。(=写真)



- はだのじばさんずが、来店者数1000万人の大台を達成しました。県内のJA農産物直売所で1000万人を突破したのは初めて。5台のレジを同時に通過した来店者5人に、地場産のシクラメンと、Sun's Gelato(サンズジェラート)のジェラート引換券を贈呈しました。(=写真)



- 花き部会が、クアーズテック秦野カルチャーホールで開かれた「はたちのつどい」の壇上を地元産の花で飾りました。赤やピンクなど大輪のバラとカーネーションをアレンジした花台と、シクラメン83鉢を設置。記念の式典に彩りを添え、二十歳の門出を祝福しました。



- 安定的な農業経営や地域農業の振興につなげようと、農政対策委員が2023年度農林業施策・予算要請書を提出しました。宮永均組合長が代表し、高橋昌和市長と小菅基司市議会議長に手渡しました。(=写真)



- 第100回を迎えた国際協同組合デーの記念行事を開催しました。全支所・支店の窓口で利用者に地場産野菜合計450袋を配った他、役職員研修会を開きました。



- 市が取り組む農畜産事業者への支援に感謝し、高橋昌和市長を表敬訪問しました。宮永均組合長と生産者組織の代表5人が、燃油や飼料の補助に対して感謝を伝えました。



- IDACAの研修を受け入れました。JAの事業内容や管内の農家の取り組みを学ぼうと、ナイジェリア、ガーナ、ジンバブエから8人の研修員が訪問しました。(=写真)



- 第59回創立記念式を本所で開催しました。参加人数を制限して3年ぶりに開催。さらなる農業の振興や地域の発展を誓いました。(=写真)



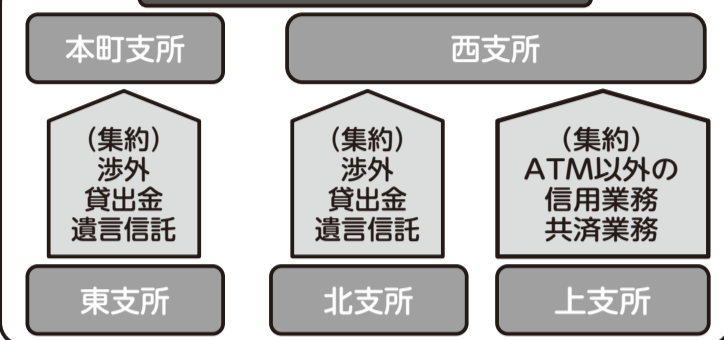
- 特産品の冷凍ゆで落花生「うでピー」の加工をスタートしました。市内の農家が栽培した落花生をさやごとゆでて冷凍したもので、県の「かながわブランド」や市の「はだのブランド」にも認定され、多くの消費者から毎年人気を集めています。

支所・支店における金融事業の再編 —第2次再編について—

昨今の厳しい金融経済情勢の中、農林中央金庫は、各JAの支所・支店の在り方について、貯金残高や事務量、市場性を考慮し・見直しすることを指導しています。これを踏まえJAはだのは、金融事業の再編として、業務集約による効率化と総合的なサービスの維持の両立を図るため、

2022年度から第1次再編を進めてきました（鶴巻支店と上支所の渉外・貸出金・遺言信託を集約）。2024年度から第2段階として、第2次再編を実施し、金融事業の見直しを行います。組合員・利用者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

第2次再編（2024年度～）



2024年度より第2次再編として、渉外・貸出金・遺言信託を、東支所は本町支所、北支所は西支所へそれぞれ業務集約をする他、上支所の共済業務・ATM以外の信用業務・共済業務を西支所へ集約します。東地区の渉外担当は本町支所から、北地区の渉外は西支所から、各地区を訪問します。生産組合や女性部、支所運営委員会などの組織活動は従来通り行います。

東支所・北支所 ⇒ 2024年3月1日（金）から業務集約

上支所 ⇒ 2024年2月22日（木）で信用共済窓口終了

金融事業再編後の金融機能

大根支所	鶴巻支所	本町支所	東支所	南支所	北支所	西支所	上支所
渉外 貯金 振込 投資信託 遺言信託 貸出金 共済	貯金 振込 投資信託 共済	渉外 貯金 振込 投資信託 遺言信託 貸出金 共済	貯金 振込 投資信託 共済	渉外 貯金 振込 投資信託 遺言信託 貸出金 共済	貯金 振込 投資信託 共済	渉外 貯金 振込 投資信託 遺言信託 貸出金 共済	ATM

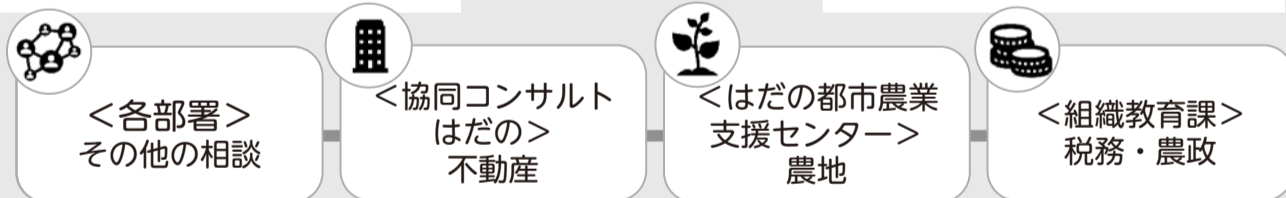
資産相談センターの設置

本所金融共済部信用課内に相続や資産の有効活用など多様な相談対応を行う部署として、「資産相談センター」を設置しました。

相談の流れイメージ



③ 組合員や利用者
に寄り添った対応



② 総合事業のメリットを生かした連携

第60回通常総代会を開催

総代会は総会に代わってJAの意思決定をする機関で、JAの運営や今後の取り組みなどを決定します。

- 日時 5月25日（木）午後1時30分～
- 場所 クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール

通常総代会提出予定議案

- 第1号議案** 2022年度事業報告および剰余金処分案の承認について（報告事項）貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書ならびに会計監査人および監事の監査報告書について
 - 第2号議案** JAはだの「第四次地域農業振興計画（2023年度～2027年度）」の設定について
 - 第3号議案** 2023年度事業計画の設定について
 - 第4号議案** 役員報酬について
 - 第5号議案** 2023年度指導事業の費用に充てるための経費（賦課金）について
 - 第6号議案** 定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- その他臨時案件

感染症対策のお願い

ご出席の際には、可能な限りマスクの着用・手洗いなどの感染症対策をお願いします。せき・発熱などの症状がある方は入場をご遠慮いただく場合があります。

2022年度剰余金処分（案）

2023年3月16日現在

（単位：千円）

科目	金額
1. 当期末処分剰余金	1,324,844
2. 剰余金処分額	314,407
(1) 任意積立金	200,000
事業基盤強化積立金	200,000
(2) 出資配当金	33,323
(3) 事業分量配当金	81,084
3. 次期繰越剰余金	1,010,437

- (注) 1. 出資配当は2.0%の割合です。
2. 事業の利用分量に対する配当金の基準は、定期貯金・定期積金・譲渡性貯金の年間平均残高10万円以上に対して、1万円につき10%の割合です。



JAはだのオリジナルキャラクター
やえのちゃん びーなマン

組合員・地域とともに



10 農業・生活・事業資金などの融資

- ◇農業振興に必要な資金対応
(農業資金の新規取り扱い 26件 3,476万円)
- ◇生活・事業などの資金対応
- ◇貸出担当者による農業者訪問

貸出残高

422億5千万円(422億6千万円)

11 万ーに備えての共済

- ◇次世代・ニューパートナー増加への取り組み強化

長期共済新契約高

260億5千万円(312億6千万円)

長期共済保有高

4,014億円(4,125億8千万円)

1年間に支払った事故共済金額

事故 2,157件 15億4千万円(1,622件 14億5千万円)

内 訳	生命	1,531件	12億6千万円	(935件	11億2千万円)
	建物	119件	7千万円	(257件	1億3千万円)
	自動車	506件	1億9千万円	(430件	1億9千万円)
	その他	1件		(なし)	

12 活動のみどり

当期剰余金

3億5千万円
(4億4千万円)



13 (株)協同コンサルトはだの

- ◇マイホーム・アパートなどの建設の支援
- ◇入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率

98.5%
(98.1%)

7 生産資材を安定供給

- ◇生産資材を安価で販売する店舗キャンペーンの実施
- ◇予約購買の基幹品目である新茶と県産飲料の普及

全体の供給高

26億1千万円(25億6千万円)

内訳

生産資材

11億5千万円(12億円)

生活物資

14億6千万円(13億6千万円)

8 共同施設の利用

- ◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止と多様化する葬儀形態への対応を両立した葬儀

全体の取扱高

3億2千万円(3億1千万円)

主な施設の取扱高

JAセレモニーホールはだの

235件 3億2千万円(254件 3億1千万円)

9 便利で安心 JAバンク

- ◇投資信託による資産形成サポート
- ◇資産活用や相続にかかる不安・悩みに対する資産相談
- ◇年金相談会の開催
- ◇特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組み

貯金残高

2,377億2千万円
(2,372億9千万円)

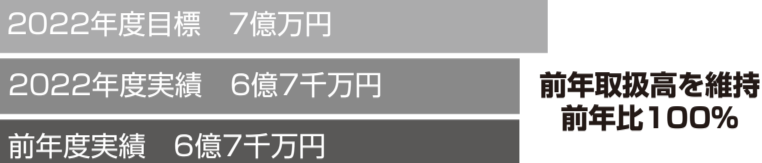


2022年度 自己改革工程表(中期経営計画で定めた目標)の初年度結果報告



農業者の所得増大・農業生産の拡大

●はだのじばさんずの取扱高維持



コロナ禍の厳しい環境の中、出荷者の協力を得て前年度取扱額を維持しました（前年実績対比100%）。7億円の目標に対しては97%の実績に留まりました。

●生産者の買取拡大



中学校給食用青果物を積極的に買い取り、大幅に増加しました。（前年実績対比147%）。3,600万円目標に対しては98%の実績に留まりました。

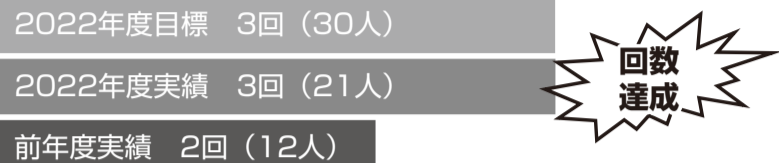
●仕入強化による生産資材の価格低減



全農以外の2社にも仕入見積もりを依頼し、コスト低減効果1品目当たり567～2,460円を5品目達成しました。

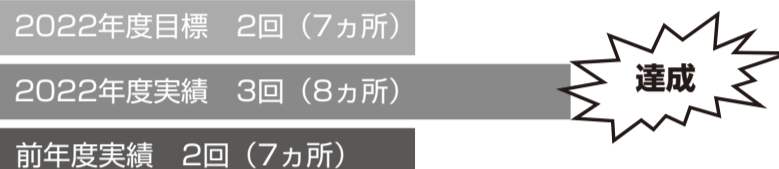
地域の活性化

●ふるさとの味伝承活動の展開



ウィズコロナが進む中、声かけを続けた結果、3回開催することができましたが、人数制限をしていたため参加者は21人に留まりました。

●フードドライブ活動の実施



物価上昇の影響で、各家庭での余剰食材は減少傾向にある中、8カ所の会場で3回実施することができました。

経営基盤の確立・強化

第1次再編として鶴巻支店と上支所の渉外・融資・遺言信託を大根支所・西支所へ移管しました。これにより鶴巻支店と上支所はコミュニティ店舗としてスタートしました。

※コミュニティ店舗とは

金融店舗としての機能を維持しつつ、渉外・融資・遺言信託を基幹店へ集約し、その他の業務、貯金・為替・投信・共済・組織活動を行う店舗です。

第四次 地域農業振興計画の設定について - 2023年度～2027年度 - ～持続可能な「はだの都市農業」の確立へ～

計画の策定にあたって

JAはだのは、「都市農業の確立」を目指し、秦野農業の振興・活性化を図るため、2018年3月に「第三次 地域農業振興計画～次世代につなぐ「はだの都市農業」の実現に向けて～」を5カ年計画で策定し、これを基礎に単年度ごとの事業計画に基づき、その具体的な実践に取り組んできました。

2023年度からの「第四次 地域農業振興計画～持続可能な「はだの都市農業」の確立へ～」の策定にあたっては、「第六次 中期経営計画」で示した基本理念『夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく』を踏まえ、「第三次 地域農業振興計画」からの成果と反省、および情勢の変化を受けて新たにに取り組むべき課題の抽出を行いました。これに「農業者アンケート」「准組合員アンケート」の結果や「地域農業振興計画策定委員会」などで寄せられたご意見を反映させながら、JAとして「はだの都市農業」が目指す方向性を明確にしました。

JAはだのは、地域農業のさらなる発展に向け、次の5カ年の活動戦略を明確にした本計画を着実に実践するとともに、行政および関係機関と連携して、営農に軸足を置いた活動をさらに展開していきます。

地域農業の振興・活性化に向けた実践（具体策）

1. 持続可能な地域農業の確立
 - (1) 振興作物の見直しと深化
 - (2) 営農指導の充実
 - (3) 多様な担い手の確保・支援
 - (4) 農地周辺環境における課題の整理と対応策
 - (5) コスト削減と環境負荷に配慮した生産支援
 - (6) みどりの食料システム戦略への具体的な取り組み
2. 地産地消を中心とした販売力強化
 - (1) はだのじばさんずの販売拡大
 - (2) 買取販売の拡大
 - (3) 学校給食への農産物の安定供給
3. 地域と共生できる都市農業の推進
 - (1) 地域住民との共生に向けた取り組み
 - (2) 都市農業ならではの多面的機能の発揮